

2013（平成 24 年度）

修士論文

1.川北奈央子

魚類の卵膜構成成分の局在に関する組織学的研究

2.佐藤のぞみ

ゼブラフィッシュ胚体におけるリポ蛋白質受容体の局在性に関する免疫組織化学的解析

3.中嶋拓郎

ビワマス (*Oncorhynchus masou subsp.*) の海水不適應能の生理学的基盤

4.中野裕介

サクラマスにおける 2 種類のインスリン様成長因子結合蛋白-1 の同定、生理的反応および組換え蛋白作製

5.平川あざみ

ヨウジウオ (*Syngnathus schlegeli*) における生殖腺形成関連因子の発現解析

6.堀場友邦

サケ科魚類ビテロジェニン受容体リガンド結合領域を発現する大腸菌および Lenti-X 293T 細胞の作製および性状解析

卒業論文

1.稲岡雄平

チョウザメビテロジェニン遺伝子の cDNA クローニング

2.高橋潤

カットスロートトラウトにおけるリポタンパク質精製法の検討

3.藤崎雄大

卵膜に対する抗血清を用いたカレイ卵の種判別法の確立

2012（平成 23 年度）

修士論文

1.櫻井秀之

ビテロジェニン受容体を標的とした物質輸送システムの開発に関する基礎的研究-蛍光標識モデル輸送体の作製及び生体投与

2.下村考弘

サクラマス(*Oncorhynchus masou*)の銀化変態期におけるインスリン様成長因子-I と鰓 Na⁺/K⁺ ATPase 活性の関係

3.瀬川卓也

イトヨ(*Gasterosteus aculeatus*)腎臓におけるスピギン合成機構に関する研究

4. 円子一樹

サケ科魚類ビテロジェニン受容体を発現する Sf-9 細胞および Lenti-X 293T 細胞株の作製および性状解析

5. 薙平裕次

カットスロートトラウトの 2 型ビテロジェニンに関する生化学的及び分子生物学的研究

卒業論文

1. 千田裕洋

植物プランクトンは魚類の血清中に雌特異蛋白を誘導するか

2. 山崎みゆき

ビワマスの成長ホルモン受容体と海水適応能の比較

2011 (平成 22 年度)

博士論文

1. 盛田祐加

Immunochemical and molecular biological studies of pregnancy-associated proteins in small odontocetes.

(小型ハクジラ類の妊娠関連タンパクに関する免疫生化学的および分子生物学的研究)

修士論文

1. 西宮攻

無顎類ヌタウナギにおける 2 型ビテロジェニン遺伝子の発現機構に関する研究

2. 藤田慎吾

シロザケ卵の主要アレルゲンが消化管内で示す挙動の検討

3. 堀越萌李

サクラマスのパーおよびスモルトの鰓における遺伝子発現パターンの比較

4. 水田紘子

硬骨魚類卵巣におけるビテロジェニン受容体および低密度リポ蛋白質受容体の発現に関する研究

5. 羅 ブンジュウ

Molecular biological studies of a novel ovarian lipoprotein receptor in cutthroat trout (*Oncorhynchus clarki*).

(カットスロートトラウトの卵巣に発現する新規リポタンパク質受容体に関する分子生物学的研究)

卒業論文

1. 川口航平

サクラマスにおける生理学的な成長指標の比較

2. 菅野佳苗

カットスロートトラウト卵巣における脂肪酸結合タンパク質(FABP)遺伝子の発現解析

3.岸本佳祐

ニジマスの血中 30-kDa インスリン様成長因子結合蛋白の同定

2010 (平成 21 年度)

修士論文

1.伊東優太

カットスロートトラウトの低密度リポタンパク質受容体に関する分子生物学的研究

2.呉 美琴

メナダを用いた中国沿岸域における環境エストロジェン活性調査

卒業論文

1.伊藤淳

ナメクジウオにおけるビテロジェニンの多型性に関する研究

2.神野徹

養殖マグロにおける性成熟過程の解析

3.山口鉄平

サケ科魚類における 28-kDa インスリン様成長因子結合タンパクの性状解析

2009 (平成 20 年度)

博士論文

1. Lei Hong

Immunochemical and molecular biological studies of choriogenin in red lip mullet (*Chelon haematocheilus*)

(メナダのコリオジェニンに関する免疫生化学的および分子生物学的研究)

修士論文

1. 國広康之

スタウナギのビテロジェニンおよびリポビテリンに関する生化学的研究

2. 高橋美咲

イトヨの多型ビテロジェニンに関する免疫生化学的ならびに分子生物学的研究

卒業論文

1.ペエヨウ

養殖クロマグロにおける性成熟過程の解析

2008 (平成 19 年度)

修士論文

1. 西川友典

サクラマス新たなビテロジェニンおよびリポビテリンに関する免疫生化学的研究

2. 山根広大

トラザメのビテロジェニンおよび卵黄蛋白質に関する免疫生化学的研究

卒業論文

1. 伊藤貴洋

カットスロートトラウト卵巣における脂肪酸輸送膜蛋白(CD36)の cDNA クローニング

2. 笠原あゆみ

カットスロートトラウト卵巣におけるリポプロテインリパーゼ(LPL)cDNA クローニング
と発現解析

3. 小竹晃博

ボラの多型ビテロジェニンに対する化学免疫測定法の確立

4. 鈴木せいら

マスノスケ インスリン様成長因子結合蛋白(IGFBP)-3 の同定

5. 久田剛輝

クロマグロにおける性成熟過程の解析

6. 全先清博

カットスロートトラウト低密度リポ蛋白質受容体の cDNA クローニングおよび発現解析

2007 (平成 18 年度)

博士論文

1. 雑賀 修

Ecotoxicological study on the growth and reproduction in *Daphnia magna* as influenced by various chemicals.

(オオミジンコの成長および繁殖に及ぼす化学物質の影響に関する生態毒物学的研究)

修士論文

1. 望月麻智子

イトウの新型ビテロジェニンに関する免疫生化学的研究

卒業論文

1. 金子賢介

マサバのビテロジェニンおよび主要卵黄蛋白質に関する研究

2. 国弘康之

スタウナギのビテロジェニンおよびリポビテリン様蛋白の精製

3. 高橋美咲

イトヨの多型ビテロジェニンの精製

2006 (平成 17 年度)

博士論文

1. 天野春菜

Immunochemical and biochemical studies of multiple vitellogenins and their related egg yolk proteins in grey mullet (*Mugil cephalus*)

(ボラの複数ビテロジェニンおよび卵黄蛋白質に関する免疫生化学的研究)

修士論文

1. 和田竜典

メナダのビテロジェニンに関する免疫生化学的研究

卒業論文

1. 出内宏樹

メダカの2型ビテロジェニンおよびコリオジェニンの免疫組織学的局在

2. 山根広大

トラザメのビテロジェニン様蛋白の精製

2005 (平成 16 年度)

修士論文

1. 井上美穂香

環境エストロジェン曝露によるメダカ2種のビテロジェニン誘導に関する研究

2. 高橋知佑

サケ科魚類血中のビテロジェニンおよびコリオジェニンの動態に関する研究

3. 中村智治

イトヨの雌特異血清蛋白並びに卵黄蛋白に関する免疫生化学的研究

4. 吉谷香奈

メダカコリオジェニンの化学発光免疫測定法の確立

卒業論文

1. 菅原理恵子

トラザメの雌特異蛋白と卵黄蛋白に関する免疫生化学的研究

2. 望月麻智子

サケ科魚類のビテロジェニンおよびコリオジェニンに関する研究

～自然環境下における血中濃度～

3. 村山 翔

イトヨのメチルテストステロン曝露に関する研究

～眼色変化と血中ビテロジェニンについて～

2004 (平成 15 年度)

修士論文

1. 北浦 優

サケ科魚類の肝細胞培養法を用いたビテロジェンの誘導に関する研究

卒業論文

1. 伊藤勝直

トラザメの卵黄関連血清蛋白質について

2. 和田竜典

メナダビテロジェニンに関する電気泳動的および免疫学的研究

2003 (平成 14 年度)

修士論文

1. 天野春菜

ボラ卵黄蛋白に関する免疫生化学的研究

2. 伊藤友紀

イトウのビテロジェニンに関する免疫生化学的研究-血清および体表粘液中の動態

3. 藤原由美

メダカのビテロジェニンならびに卵黄蛋白に関する免疫生化学的研究

卒業論文

1. 井上美穂香

メダカの 2 タイプビテロジェニンの血中動態

2. 高橋知佑

シロサケ雄魚のビテロジェニンベースラインに関する研究

3. 中村智治

イトヨの雌特異血清蛋白並びに卵黄蛋白の比較研究

2002 (平成 13 年度)

修士論文

1. 小寺智志

マコガレイ雌特異血清蛋白に関する免疫生化学的研究

2. 高原志樹

コイ肝細胞培養系を用いた植物性エストロジェンのビテロジェニン誘導に関する研究

卒業論文

1. 北浦 優

ニジマス肝細胞培養の検討

2. 徳島悠木

イトウ二次循環系の免疫生化学的研究

3. 中村智恵

ウナギ血中の卵膜関連蛋白の検索

2001 (平成 12 年度)

修士論文

1. 芳賀歩

サケ科魚類雄ビテロジェニンの周年変化

卒業論文

1. 天野春菜

海産魚類マグロビテロジェニンの化学発光イムノアッセイによる測定法の確立

2. 伊藤友紀

イトウ雄におけるビテロジェニンの周年変化

2000 (平成 11 年度)

博士論文

1. 北村真紀子

Immunochemical and biochemical studies on egg yolk protein, vitellin, in Ezo abalone (*Haliotis discus hannai*)

(エゾアワビにおける卵黄蛋白ビテリンに関する免疫生化学的研究)

修士論文

1. 平野香織

Immunochemical studies on carp (*Cyprinus carpio*) vitellogenin as a biomarker of endocrine disrupters

(環境ホルモンのバイオマーカーとしてのコイビテロジェニンに関する免疫生化学的研究)

卒業論文

1. 小寺智志

マコガレイ血中ビテロジェニンおよびコリオジェニンの周年変化

2. 高原志樹

イムノクロマトグラフィーによるサケ科魚類ビテロジェニンの検出

3. 藤原由実

化学発光イムノアッセイ (CLIA) によるコイの血中ビテロジェニン測定系の確立

4. 盛田祐加

エストラジオール 17b 投与によるウミネコ血中ビテロジェニンの動態

1999 (平成 10 年度)

博士論文

1. 深田陽久

Immunochemical and biochemical studies on growth hormone in salmonids

(サケ科魚類の成長ホルモンに関する免疫生化学的研究)

2. 藤田敏明

Immunochemical and biochemical studies on precursors of vitelline envelope proteins of masu salmon (*Oncorhynchus masou*)

(サクラマス卵膜蛋白前駆物質に関する免疫生化学的研究)

卒業論文

1. 高橋みのり

ビテロジェニンの cross reaction

2. 芳賀歩

カットスロートトラウトの卵黄形成について